

## ■外科（消化器外科・小児外科）

### 1. 2021 年度の目標及び方針

#### ①手術件数の増加

外科本来の業務である手術件数の増加に一層の努力を注ぐ。

#### ②スタッフの増員

過去の豊富な実績により部位別に指導職は充足してきているが、今年度は、特に中間層（消化器外科専門医）の採用を急務として強化していきたい。

#### ③新専門医制度への対応

全国的な外科医不足の中、魅力ある外科領域専門医プログラムづくりを目指す。

#### ④労務管理の改善

外科医の労務環境の改善は、今後のためにも急務と考える。

### 2. 外科（消化器外科，小児外科）

#### 1) 外科の組織構成

消化器外科および小児外科が一つの組織として診療を行っている。

通常の手術は勿論のこと南房総唯一の総合病院であるため、外傷・急性腹症などの救急手術も多く、年間 1500 例あまりの手術を行っている。また、呼吸器外科と合同でカンファレンスを行っており、密に連携を保っている。診療に関しては悪性疾患で上部消化管、下部消化管、肝胆膵の 3 部門および肛門部門、ならびに小児外科がそれぞれのチーフの指導のもとで、診療を行っている。シニアレジデントは各部門に属することなく、救急疾患はもとより幅広い疾患の診療経験が可能である。各部門のチーフは以下の如くである。

- ・上部消化管 草薙 洋（主任部長） 中木 正文（部長代理）
- ・下部消化管 本城 弘貴（部長）、宮崎 彰成（部長）
- ・肝胆膵 林 賢（部長）、宮崎 彰成（部長）
- ・肛門 角田明良（部長）、高橋 知子（部長）
- ・小児外科 松田 諭（部長）

#### 2) 目標・理念

待ったなしの高齢化社会において手術という観点に立ち、瑣末的理論に囚われない全人的診療のできる臨床外科医の育成を目指す。

#### 3) 実績

2020 年度 消化器外科 手術件数		
区分	術式	術式別件数
食道	食道切除術	10
	食道裂孔ヘルニア修復術	2
胃	胃全摘術	13

	遠位側胃切除術	45
	胃部分切除術	11
	上部消化管穿孔手術	12
	胃瘻・腸瘻孔	9
	胃空腸バイパス術	17
肝・胆・膵・脾臓	胆嚢摘出術	199
	膵頭十二指腸切除術	23
	膵体尾部切除術	17
	肝切除術	41
	肝嚢胞開窓術	3
	脾臓摘出術	1
小腸	小腸切除術	17
	イレウス解除術	57
	異物除去術	3
結腸	盲腸切除術	6
	虫垂切除術	54
	右結腸切除術	60
	横行結腸切除術	11
	左結腸切除術	13
	S状結腸切除術	80
	緊急ハルトマン手術	14
	その他結腸切除術	7
	小腸結腸バイパス	10
直腸	直腸切除術	60
	直腸脱手術	31
肛門	痔核手術	117
	痔瘻・裂肛手術	54
	肛門ポリープ・腫瘍切除術	16
	その他	10
その他	鼠径部ヘルニア修復術	167
	腹壁ヘルニア修復術	20
	閉鎖孔ヘルニア修復術	2
	人工肛門造設術	47
	人工肛門閉鎖術	49
	CVポート造設術	139
	CVポート抜去術	18
	腹腔内腫瘍切除術	3

	腹腔内洗浄ドレナージ術	14
	試験開腹術	10
	その他	0
	合計	1492
* その他結腸切除術：結腸全摘術、Stoma 脱手術など		
* 肛門その他：肛門周囲膿瘍ドレナージ、痔核出血		
* その他その他：リンパ節生検、気管切開		

2020 年度 小児外科 手術実績

術式名		件数	腹腔鏡下	経内視鏡下
1	崬径ヘルニア根治術（ホッツ手術）	16	0	0
2	ヘルニア手術（臍）	1	0	0
3	小腸切除術（全切開・開腹）	1	0	0
4	胃瘻造設術	3	0	2
5	虫垂切除術（腹腔鏡下）	3	3	0
6	精巣固定術	4	0	0
7	人工肛門閉鎖術（CVカテ挿入）	1	0	0
8	試験開腹術	2	1	0
9	肥厚幽門筋切開術	2	0	0
10	直腸腫瘍摘出術	1	0	0
11	空腸切除術	1	0	0
12	鎖肛手術（会陰式）	1	0	0
13	瘻孔切除術	1	0	0
14	胆管外瘻造設術（CVカテ挿入）	1	1	0
15	肛門ポリープ切除術	1	0	0
	合計	39	5	2

4. 学術関係

論文

◎Akira Tsunoda: Surgical Treatment of Rectal Prolapse in the Laparoscopic Era; A Review of the Literature, J Anus Rectum ColonI 2020 ; 4(3)89-99

◎Akira Tsunoda, Tomoko Takahashi and Hiroshi Kusanagi :Effect of Pelvic Floor Descent on Pasterior Pelvic Floor Disorders in Women with Obstructed Defecation Syndrome, Acta Scientific Women's Health(ISSN:2582-3205) 2020; 2(10)36-42

◎Akira Tsunoda, Tomoko Takahashi, Kenji Sato, Hiroshi Kusanagi: Factors predicting the presence of concomitant enterocele and rectocele in patients with external rectal prolapse, Ann Coloproctol 2021 Jan 12 ; 4(3)89-99

◎Kentaro Hayamashi, Ken Hayashi, M. Narita, Akira Tsunoda, Hiroshi Kusanagi: Still time to perform

intestinal revascularization in patients with acute mesenteric ischemia with peritonitis: An analysis of bowel viability in resections, SAGE 2020 May 24

◎Yoshiyuki Kiyasu, Ken Hayashi, Hiroshi Kusanagi : Pancreatic head carcinoma surgery in a patient with replaced left and right hepatic arteries, ANZ Journal of Surgery 2021 Jan 4

◎Naoki Oka, A. Tsunoda, T. Takahashi, S. Matsuda, H. Kusanagi : Predictive Factors and Effects of Replaced Rectorectal Intussusception on Functional Outcomes in Patients with Rectoanal Intussusception Who Have Undergone Laparoscopic Ventral Rectopexy, Indian J of surg 2021; Feb. 2021 ; 83(1):79-86

◎角田 明良 : 直腸脱に対する腹腔鏡下腹側直腸固定術 (LVR), 手術 2020-10 ; 74 (11) : 1579-1584

◎角田 明良 : 直腸脱に対する ventral rectopexy の適応と手術手技, 外科 2020 ; 82 (10) : 1036-1041

◎高橋 知子 : 女性における慢性便秘症とその治療 - 産婦人科領域を中心に - 、ポリエチレングレコール製剤による慢性便秘症治療のストラテジー 先端医学社 2020年4月 99 - 102

◎佐藤 賢司、角田 明良、高橋 知子 : 器質性便排出障害に対する STARR と LVR の比較 日本大腸肛門病学会誌 2020年7月 ; 73(7)293-300

<共著 院内・院外>

◎Kaoru Nakano, Tomoko Takahashi, Akira Tsunoda and Yukiko Shimizu: Effects of Dietary Guidance without Dietary Fiber supplements on the Symptoms, Quality Intake in Patients with fecal Incontinence; J Anus Rectum Colon 2020 ; 4(3)128-136

◎平井 菜穂、角田 明良 : 骨盤底筋協調運動障害を呈する便排出障害には肛門筋電計を用いたバイオフィードバック療法が有用である、日本ストーマ・排泄会誌 2020. 12 ; 36(3)106-113

◎大澤 郁子、角田 明良、高橋 知子 : 体位が直腸肛門重積患者の肛門内圧に及ぼす影響 ; 日本大腸肛門病学会雑誌 2021. 03 ; 74(3) 162-167

◎Kotaro Maeda, Hidetoshi Katsuno, Akira Tsunoda, Mihiko Seki, Yoshihiko Takao, Toshiki Mimura, Tetsuo Yamana, Kazuhiko Yoshioka and Fecal Incontinence Guideline Preparation Committee:

・Japanese Practice Guideline for Fecal Incontinence Part1

- Definition, Epidemiology, Etiology, Pathophysiology and Causes, Risk Factors, Clinical Evaluation, and Symptomatic Scores and QoL Questionnaire for Clinical Evaluations-English Version; J Anus, Rectum Colon 2021;5(1)52-66

・Japanese Practice Guideline for Fecal Incontinence Part2

- Examination and Conservative Treatment for Fecal Incontinence-English Version; J Anus, Rectum Colon 2021;5(1)67-83

・Japanese Practice Guideline for Fecal Incontinence Part3

-Surgical Treatment for Fecal Incontinence, Fecal Incontinence in a Special Conditions-English version; J Anus, Rectum Colon 2021;5(1)84-99

□学会

◎角田 明良、高橋 知子、草薙 洋 : 痔核に対する mucopexy+ALTA 法の短期成績 第 120 回日本外科学会定期学術集会 完全 Web 開催 2020. 8. 13~15

- ◎高田 瞬也、松田 諭： ICG 蛍光法を用いて胸腔鏡下手術を施工した左肺葉内肺分画症の一例 第 57 回日本小児外科学会学術集会 Web ライブ配信 都市センターホテル 2020. 9. 19～21
- ◎尾方 信仁、松田 諭、長崎大学 小児外科 山根裕介、吉田拓哉、田浦康明、光永武：腹腔鏡手術が有用であった Abdominoscrotal hydrocele の一例 第 57 回日本小児外科学会学術集会 Web ライブ配信 都市センターホテル 2020. 9. 19～21
- ◎角田 明良、高橋 知子、松田 諭、佐藤 賢司、草薙 洋：直腸脱+骨盤臓器脱に対する laparoscopic ventral rectopexy with sacrocolpopexy の成績 第 82 回日本臨床外科学会総会 ライブ配信 大阪国際会議場 2020. 10. 29～31
- ◎高田 瞬也、草薙 洋：食道胃接合部に発生し GIST と鑑別が困難であった Gastrointestinal duplication の一例 第 82 回日本臨床外科学会総会 ライブ配信 大阪国際会議場 2020. 10. 29～31
- ◎宮嶋康次郎、金 正佑、草薙 洋：癒着を伴わないメッケル憩室捻転に起因した絞扼性腸梗塞の一例 第 82 回日本臨床外科学会総会 ライブ配信 大阪国際会議場 2020. 10. 29～31
- ◎草薙 洋、本城 弘貴、宮崎 彰成、角田 明良：80 歳以上胃癌根治手術後の生命予後因子の解析；JDDW2020(第 62 回消化器病学会、第 97 回消化器内視鏡学会、第 18 回消化器外科学会) ライブ配信 神戸コンベンションセンター 2020. 11. 5 - 8
- ◎草薙 洋、藤本 剛士、舎人 誠、本城 弘貴、松田 諭、宮崎 彰成、林 賢：胃癌術後の腸閉塞症の現状； Web ライブ配信 第 50 回胃外科・術後障害研究会 2020. 11. 13 - 14
- ◎角田 明良、高橋 知子、松田 諭、佐藤 賢司、草薙 洋：直腸重積/直腸瘤に対する術後排便機能-STARR vs. LVR；第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会 Web ライブ配信 2020. 11. 13 - 14
- ◎角田 明良、高橋 知子、佐藤 賢司、草薙 洋、松田 諭：直腸脱に対する laparoscopic ventral rectopexy の長期成績；第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会 Web ライブ配信 2020. 11. 13-14
- ◎角田 明良、高橋 知子、大塚 喜人：温水洗浄便座におけるノズルと吐水の細菌汚染 -清掃頻度による相違-； 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会 Web ライブ配信 2020. 11. 13-14
- ◎Akira Tsunoda, Tomoko Takahashi, Satoshi Matsuda, Kenji Sato, Hiroshi Kusanagi : Long-term functional outcome after laparoscopic ventral rectopexy for external rectal prolapse The 30th Biennial Congress of ISUCRS 2020 Web ライブ配信 Pacifico Yokohama North 2020. 11. 14-15
- ◎Tomoko Takahashi, Akira Tsunoda, Yumi Tanabe, Yukiko Shimizu, Hiroshi Kusanagi : Anal and perineal reconstruction surgery and outcomes for the severe obstetric anal sphincter injuries The 30th Biennial Congress of ISUCRS 2020 Web ライブ配信 Pacifico Yokohama North 2020. 11. 14-15
- ◎草薙 洋、宮崎 彰成、林 賢、松田 諭、高橋 知子、本城 弘貴、角田 明良：当院における胃癌術後感染症の現状；第 33 回日本外科感染症学会総会学術集会 Web ライブ配信 2020. 12. 10-11
- ◎草薙 洋、本城 弘貴、松田 諭、宮崎 彰成、角田 明良：胃癌根治切除後の食道癌の検討；第 74 回日本食道学会学術集会 Web ライブ配信 JR ホテルクレメント徳島 2020. 12. 10-11
- ◎本城 弘貴、新井 智仁、鈴木 創太、横溝 真央人、佐藤 賢司、高田 瞬也、宮崎 彰成、角田 明良、三毛 牧夫、草薙 洋：80 歳以上の高齢者大腸癌手術の予後に影響を与える臨床的諸因子についての検討；第 75 回日本消化器外科学会総会 Web ライブ配信 和歌山県民文化会館 2020. 12. 15-17

◎Hiroataka Honjo, Makoto Yokomizo, Akihito Arai, Sota Suzuki, Jeongyoo Kim, Hiroataka Seki, Kenji Sato, Sunya Takada, Akinari Miyazaki, Ken Hayashi, Akira Tsunoda, Hiroshi Kusanagi : The review of clinical factors that affect the outcome of colorectal cancer surgery in the elderly The 75<sup>th</sup> Japanese Society of Gastroenterological Surgery Web Live 2020.12.15-17

◎角田 明良：直腸脱に対する最新の外科治療；第14回日本骨盤臓器脱手術学会 Web ライブ配信 亀田総合病院 2021. 3. 26-27

◎高橋 知子：Posterior compartment の超音波評価；第14回日本骨盤臓器脱手術学会 Web ライブ配信 亀田総合病院 2021. 3. 26-27

□座長・解説その他

◎宮崎 彰成：ディスカッサント 腹腔鏡下右半結腸切除術 - 郭清と再建（体腔内吻合） - Chiba Colon Conference Web セミナー 2020. 11. 21

◎草薙 洋：座長 ポスター27 チーム医療2；第74回日本食道学会学術集会 2020.12.10-11

◎角田 明良：座長 教育講演① 直腸脱・排便障害；第14回日本骨盤臓器脱手術学会 亀田総合病院 2021. 3. 26-27

◎角田 明良：座長 LSC+LVR の実際；第14回日本骨盤臓器脱手術学会 亀田総合病院 2021. 3. 26-27

文責：草薙 洋